

7 第六回オープンキャンパス

7-1 準備及び広報

埼玉県さいたま市緑区の畑での開催のためにアクセスが悪い場所であることから、チラシは周辺の福祉施設や行政への配布が中心となった。チラシは以下である。



2019年度文部科学省委託研究事業

障がい者の学びの場

参加費 無料

シャローム大学校

オープンキャンパス

ボランティア、サブティチャー、一般参加の市民の方も大歓迎です

関わりあいステージ

12月4日(水) 午前10時30分～12時

畑でできるもの、畑で作るもの

焼き芋をかこんでみんなで歌おう
一元サムの歌手、のぞむとともにー


畑からできるものを学び、一緒に焼き芋を行い、フィールドゲームで楽しみます。
また、みんなで一緒に歌も歌います。
担当講師：NPO法人のらんどあぐり

場所：さいたま市緑区のらんどあぐり管理の畑及びフィールド
(さいたま市緑区南部駅付近)

第4回目のオープンキャンパス(フィールドワーク)風景

田んぼで稲刈りをした後は、「わらじげ」をして遊びました!

※雨天中止の場合があります。会場は都合により変更することもあります。



2020年1月18日(土) 午前10時30分～12時

ビジネスとコミュニケーション-素敵に交わり話し合う

仕事の現場やビジネス社会での人との対話のやり方を、体感しながら楽しく学んでいきます。
担当講師：林真理子(シャローム大学校研究員・ビジネスマネージャー講師)

場所：和光中央公民館(埼玉県和光市中央1-7-27)

昨年度のビジネスコミュニケーション開催風景

2019年度シャローム大学校オープンキャンパスコーディネーター引地達也(シャローム大学校 学長)

参加対象

学びたいと考える障がい者、障がい者と学びたいと考える方々
(対象年齢は18歳以上)

お申込方法

ご参加は全てでも1回のみでも構いません。付き添いの方は1名につき1名まで可能です。
お申込みは、お名前・住所・電話番号・所属先(学校や福祉施設等)を明記の上、メール・FAXでご申し込みします。

お申込み 対象先名：シャローム大学校(オープンキャンパス係)
〒351-0114 埼玉県和光市本町 9-4C-5F
電話：048-450-7055 / FAX：048-450-7055 / E-MAIL：atahio@college99999.or.jp

<FAXでのお申込みの方は、下記をご記入の上、048-450-7055まで送信ください>

●参加回 (複数希望可・希望回に☑をつけてください)：
 畑でできるもの、畑で作るもの
 ビジネスとコミュニケーション-素敵に交わり話し合う

●お名前 1： _____
●お名前 2： _____
●ご住所： _____
●電話番号： _____
●所属先： _____

本事業は2019年度文部科学省「学校卒業後における障がい者の学びを支援する実践的研究事業」の委託事業です。

主催：一般財団法人福祉教育支援協会/シャローム大学校

7-2 カリキュラム内容

オープンキャンパスは午前10時30分から午後12時まで、さいたま市緑区南部領辻明神下の「NPO法人のらんどあぐり」が管理する畑で同法人とともに共同で行われた。

以下がタイムフローである。

時間	項目	内容
930	スタッフ集合・準備開始	看板・案内・
1000	受付開始	
1030	開会あいさつ 引地達也	
	焼き芋の準備	アルミホイルで包んだ里芋を焚火の中へ
1045	三味線ステージ&みんなで歌おうパート1	津軽三味線の奏者、澤田慶仁さんが三味線を演奏し、参加者が「ふるさと」を歌う
1100	フィールド散策	多くの種類の野菜が栽培されている畑を散策
1130	焼き芋を食べながら三味線ステージ&みんなで歌おうパー	再度、澤田慶仁さんが三味線を演奏し、参加者が「ふるさと」を歌う

	ト2	澤田さんの演奏ステージもあり
1155	終了	

・当日のスタッフマニュアルは「NPO法人のらんどあぐり」が作成いただき、これに従って進行了た。

1

2

3

4

◆星字遊び、文字入れ多 (10:40~11:00)

内容

企業理念の浸透強化、企業文化の向上を図るため

ルール

参加者一人ひとりに課題を配付し、各自のチームで協力してチームワークを競い合う。
 ①各チームに課題を配付し、各自のチームで協力してチームワークを競い合う。
 ②各チームに課題を配付し、各自のチームで協力してチームワークを競い合う。
 ③各チームに課題を配付し、各自のチームで協力してチームワークを競い合う。

備品

黒板/ホワイトボード/課題用紙/ボールペン/消しゴム/ボールペン/ボールペン/ボールペン

役割

	担当	役割と役割
企業行	サカキ 幹子	- 課題の配付・説明、課題の進捗 - 文字入れの指導
企業行補助・記録	荻原 英	課題の配付、記録

5

◆農園めぐり (11:00~11:30)

内容

企業理念の浸透

ルール

農園の施設めぐり、園内での作業体験。
 ①各チームに課題を配付し、各自のチームで協力してチームワークを競い合う。
 ②各チームに課題を配付し、各自のチームで協力してチームワークを競い合う。

備品

黒板

役割

	担当	役割と役割
企業行	サカキ 幹子	- 農園の案内・説明、園内での作業体験 - 課題の配付・説明、課題の進捗
企業行補助・記録	荻原 英	課題の配付、記録、園内での作業体験
企業行		

6

◆星字を取り出す (11:30~11:35)

内容

企業理念の浸透

ルール

各チームに課題を配付し、各自のチームで協力してチームワークを競い合う。
 ①各チームに課題を配付し、各自のチームで協力してチームワークを競い合う。
 ②各チームに課題を配付し、各自のチームで協力してチームワークを競い合う。

備品

黒板/ホワイトボード/課題用紙/ボールペン/消しゴム

役割

	担当	役割と役割
企業行	サカキ 幹子	課題、案内・説明、星字取り出し
企業行補助	荻原 英	課題の配付、記録

7

◆歌 (11:35~11:45)

内容

企業理念の浸透

ルール

各チームに課題を配付し、各自のチームで協力してチームワークを競い合う。
 ①各チームに課題を配付し、各自のチームで協力してチームワークを競い合う。
 ②各チームに課題を配付し、各自のチームで協力してチームワークを競い合う。

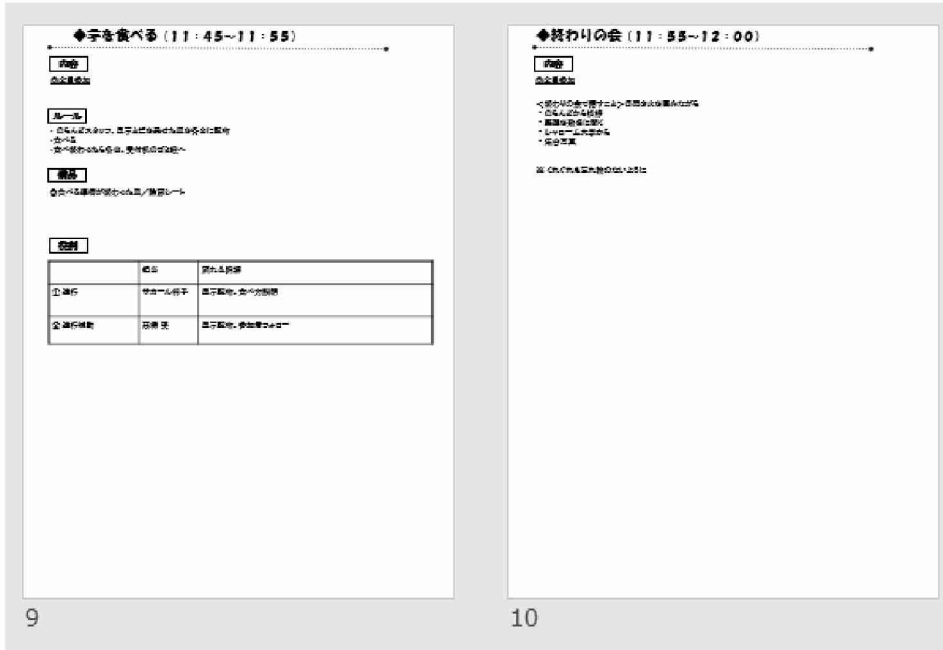
備品

黒板/ホワイトボード/課題用紙/ボールペン/消しゴム

役割

	担当	役割と役割
企業行	サカキ 幹子	課題、案内・説明、星字取り出し
企業行補助・記録	荻原 英	課題の配付、記録、園内での作業体験

8



7-3 開催レポート

2019年12月4日(水)、さいたま市緑区においてシャローム大学校「オープンキャンパス2019」第6回目が開催されました。

【開催概要】

日時：12月4日(水) 午前10時30分～12時

テーマ：畑のできるもの、畑で作るもの—焼き芋をかこんでみんなで歌おう—
畑からできるものを学び、一緒に焼き芋を行い、みんなで一緒に歌も歌います。

担当講師：NPO法人のらんどあぐり

場所：さいたま市緑区のらんどあぐり管理の畑等(さいたま市緑区南部領辻付近)

主催：一般財団法人福祉教育支援協会/シャローム大学校

【開催レポート】

見沼たんぼで開催

見沼たんぼは、東京都心から20～30km圏内に位置しており、約1260haという広大な面積を持つ、首都近郊における貴重な大規模緑地空間です。

10:30～10:45<みんなで焼き芋準備>

まずは、この後みんなで食べる焼き芋の準備を行いました。水に濡らした新聞紙とアル

ミホイルに包まれた里芋は、焚火の中でじっくりと焼かれます。



10：45～11：00＜三味線ステージ&みんなで歌おうパート1＞

焼き芋の準備が終わった後は、津軽三味線の奏者、澤田慶仁（さわだやすひと）さんが登場。クリスマスソングの三味線演奏で盛り上げてくれた後は、みんなで「ふるさと」を澤田さんの三味線伴奏付きで歌いました。



11：00～11：30＜のらんどあぐりの畑、フィールド散策＞

続いては、多くの種類の野菜が栽培されている畑を散策しました。散策最中は「ねぎの種はいつ植えたのでしょうか？」など、野菜の栽培についての知識が学べるクイズが出題されました。



11：30～11：55<焼き芋を食べながら三味線を伴奏にみんなで歌おうパート2>

散策から帰るころ、ちょうど焼き芋が焼きあがっていました。あつあつ、ほくほくの里芋を頬張ると、思わずみんなにっこりと笑みがこぼれました。



そして、三味線の音と共に澤田さんが再登場。もう一度みんなで「ふるさと」を歌いました。最後は、澤田さんのオンステージ。卓越したテクニックで素晴らしい演奏を披露してくれました。



11:55~12:00<終わりの会>

素晴らしい天候に恵まれた本日のオープンキャンパスもこれで終了。焼き芋を焼いてくれたり、畑を案内してくれたのらんどあぐりさんに、みんなから感謝を込めた大きな拍手が沸き起こりました。



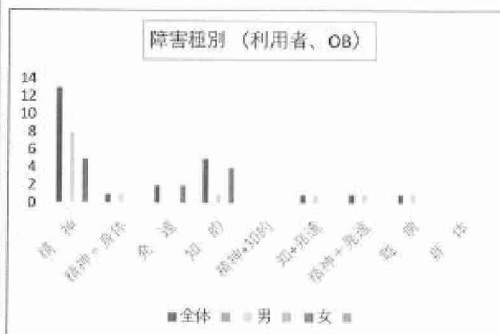
7-4 参加者集計

オープンキャンパス 集計

第6回_2019年 12月 4日					
	全体	男	女	欠席	前欠
予 定	39	21	17	-	-
当 日	41	23	18	0	-
シャローム利用者	4	2	2	0	-
シャロームOB シャローム大学校学生	4	3	1	0	-
のらんどめぐり	3	3	0	0	-
茶色いお家	11	6	5	0	-
付 添	8	3	5	0	-
一般・視察等	2	1	1	0	-
技術指導ボランティア	2	0	2	0	-
スタッフ	7	5	2	0	-

* 障害種別 (利用者、OB)

障害種別	全体	男	女
精 神	6	4	2
精神+身体	0	0	0
発 達	0	0	0
知 的	15	9	6
精神+知的	0	0	0
発達+知的	0	0	0
精神+発達	0	0	0
精神+難病	0	0	0
身 体	0	0	0
計	21	13	8



* 年齢別（スタッフ以外）

年齢別	全体	男	女
15-19	2	2	0
20-24	3	1	2
25-29	5	1	4
30-34	4	3	1
35-39	3	2	1
40-44	4	3	1
45-49	3	2	1
50-54	4	1	3
55-59	0	0	0
60代	4	3	1
70代	0	0	0
80代	0	0	0
不明	1	0	1
計	33	18	15

* 地域別（スタッフ以外）

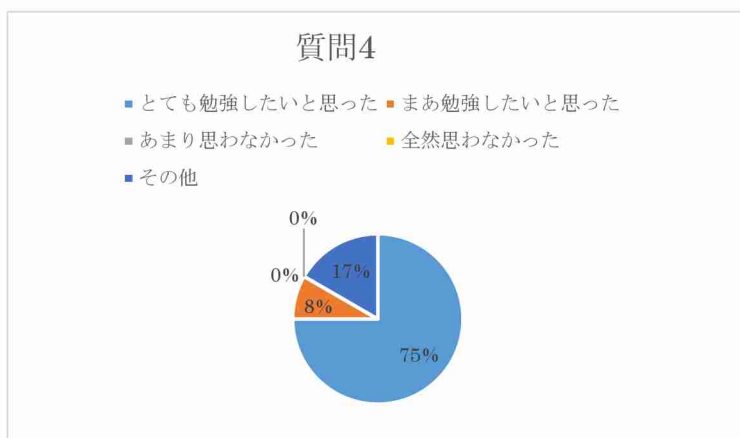
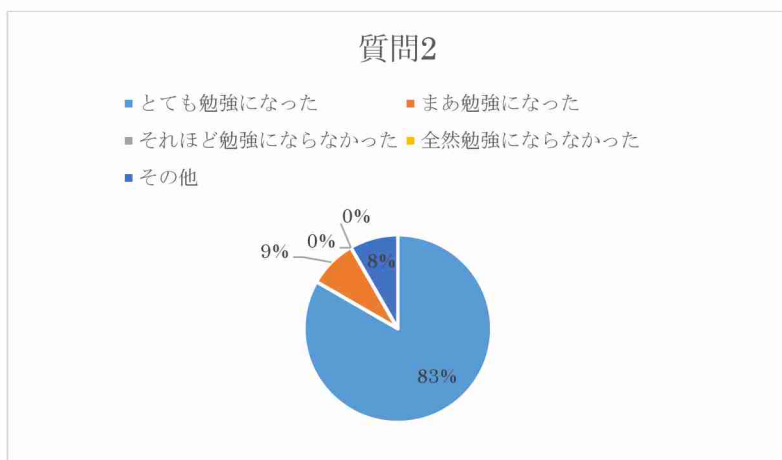
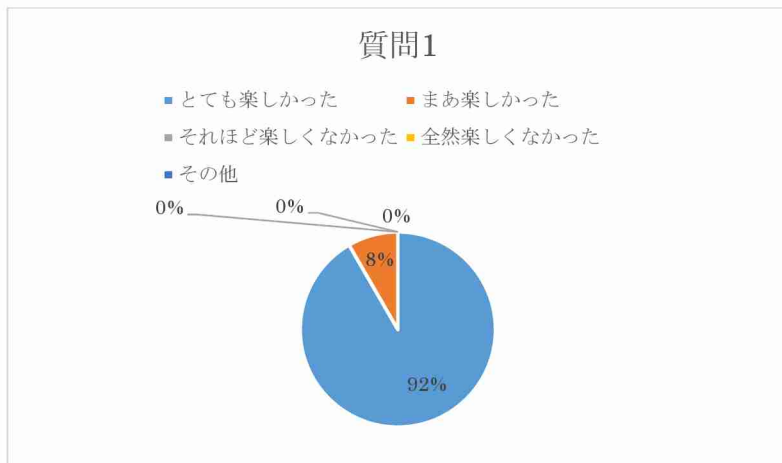
	全体	男	女
和光市	2	1	1
朝霞市	0	0	0
富士見市	0	0	0
坂戸市	1	1	0
所沢市	0	0	0
狭山市	1	1	0
新座市	1	1	0
西東京	0	0	0
飯能市	0	0	0
板橋区	3	1	2
杉並区	0	0	0
千葉県松戸市	1	1	0
さいたま市	24	12	12
不明	0	0	0
計	33	18	15

7-5 受講者の感想

	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	年齢	性別		
1	とても楽しかった	焼芋が美味しく、畑の様子を知ることができ、素敵な演奏を聞くことができ、とても充実したプログラムでした。	とても勉強になった	自然の食べ物は、体や心を気持ちよくさせてくれます。	「故郷」を晴天の中、自然に囲まれて大声で歌ったこと。	とても勉強したと思った	野外でスポーツや遊びを楽しくやりたいですね。	32	男性
2	とても楽しかった	自然の中ですごせた	とても勉強になった	見沼でとれる作れる、野菜等を知ることができた	見沼の里芋がおいしかったこと	とても勉強したと思った			女性
3	とても楽しかった		とても勉強になった	様々な野菜を近くで、沢山みれた	さといもが、おいしかった	とても勉強したと思った			
4	とても楽しかった	おいもがおいしかった	とても勉強になった	やさいのことがいろいろわかった	やさいができるまでのしつもんがおもしろかった	とても勉強したと思った			

5	とても楽しかった		とても勉強になった		里芋がおいしかったです。	とても勉強したと思った		50	女性
6	とても楽しかった	天気の良い中、たき火に、歌に、畑と、満キツできました。	とても勉強になった	畑を久しくおとずれていかったので土とのふれあい出来、ためになりました。	さといもがとても美味しかったです。	とても勉強したと思った		43	男性
7	とても楽しかった	青空の下で三味線を聞くという珍しい体験が出来た。	とても勉強になった	浦和というと都会的なイメージだったが、その中にある自然に触れる事ができた。	皆さんで作業を分担し、調理を行った事。	とても勉強したと思った		34	男性
8	とても楽しかった	様々な野菜が育てられているところを見れたから	とても勉強になった	同上	多種多様な野菜が育てられている風景	とても勉強したと思った		19	男性
9	とても楽しかった	今日はさつまいももたべるととてもおいしかったです。	とても勉強になった	今日はやさいの見学に行きました。					
10	まあ楽しかった	畑の野菜を見えたから	とても勉強になった	野菜のさいばいしているものを見えたから	おいもを食べたこと	まあ勉強したと思った		41	男性
11	とても楽しかった	自然と音楽の融合がリラックスできた時間の流れをゆっくりと感じられた	まあ勉強になった	自然を学べた				49	男性
12	とても楽しかった	みんながおいしいと食べてくれて、嬉しかったです あとは青空の下、津軽三味線がとても気持ちよかったです～！		のらんどのたき火担当です	たき火×歌(三味線)	とても勉強したと思った	ぜひ収穫の体験もしてもらえるところがうれしさを体験できると思います	37	女性

・集計表



6回目 参加者12人							
質問1		質問2		質問4		年齢・性別	
とても楽しかった	11	とても勉強になった	10	とても勉強したいと思った	9	年齢回答者数	8
まあ楽しかった	1	まあ勉強になった	1	まあ勉強したいと思った	1	平均年齢	38
それほど楽しくなかった	0	それほど勉強にならなかった	0	あまり思わなかった	0	男性	6
全然楽しくなかった	0	全然勉強にならなかった	0	全然思わなかった	0	女性	3
その他	0	その他	1	その他	2	未回答	3

7-6 まとめ

初めての試みとなった畑でのフィールドワークは前年度の田んぼでのフィールドワークに参加した「のらんどめぐり」との交流から始まった。昨年の「学びあい」がこのような形で次の学びにつながっていくのは、地域の障がい者団体やコミュニティが、表に出て広げて行うことで可能となるつながりと展開の形の1つではないかと考える。

のらんどでは畑で様々な作物を収穫しており、フィールドワークでは冬であっても、畑では各種の作物のほか生き物がいることをガイドしていただき、収穫したばかりの里いもを水で濡らして新聞紙に包み、その上にホイルで包んだものを焚火の中で焼くことで、皮が剥きやすい状態になることを学びつつ、多くの方は作業をしながらコミュニケーションをし、新しい交流の機会となった。

参加者には重度障がい者の方もおり、作業が難しい場合でも、共にいることを歓迎し、場を共有する楽しさにも結び付けたのではないと思う。

また焚火を囲みながら、ゲストに津軽三味線の歌手、澤田康仁さんが参加し、三味線と歌唱を披露していただき、参加者は大喜びの様子であった。

8 第七回オープンキャンパス

8-1 準備及び広報

このプログラムは当初の計画に盛り込まれていたことや、会場が20人程度で満員になっていますことから、すでに予約で参加者が満員となるのが見込まれたため、ウェブ上だけの案内となった。案内したWEBサイトページは以下である。

第7回 実践教育ステージ	
日時	2020年1月18日(土) 午前10時30分~12時
場所	シャローム和光(埼玉県和光市丸山台1-10-6志幸21ビル7階)
講義科目	ビジネスとコミュニケーションー素敵に交わり話し合う
講義内容	仕事の現場やビジネス社会での人との対話のやり方をわかりやすく、体感しながら楽しく学んでいきます
講師	林真理子・シャローム大学校研究員、ビジネスマナー講師

8-2 カリキュラム内容

オープンキャンパスは午前10時30分から午後12時まで、和光市の就労移行支援事業所「シャローム和光」で行われた。

以下がタイムフローである。

時間	項目	内容
930	スタッフ集合・準備開始	4人ー1グループ(受講生とサブティーチャー)・看板・案内・パソコンセッティング・WB・音声・マイク
1000	受付開始	
1030	開会あいさつ 引地達也	以下、説明資料、パワーポイント
	出席者紹介 同	
1040	自己紹介タイム 同	各テーブルでチームリーダーの指名(ぬいぐるみで印付け) <自己紹介のやり方> 1 白い紙にクレヨンで名前を書く 2 以下のうち1つを選んで話をする ・はまっていること ・面白かったこと ・食べておいしかったもの ・楽しかったこと
1050	ワークショップ:クッションパス回し	グループごとに小さなクッションをパス回し

1100	講義：林真理子・シャローム大 学校研究員、ビジネスマナー講 師 社会での人間関係と望ましい コミュニケーション	※以下カリキュラムは配布資料参照 ①社会における人間関係のポイント ②相手が望むコミュニケーション について解説
1110	ワークショップ：スマイルカー ドをつくらう	「これを思い出すと思わず笑顔になれるも の」をカードに書き、その内容を紹介しあう
1130	ワークショップ：お辞儀・名刺 交換	お辞儀や名刺交換のポイントの解説があつた 後、実践
1150	まとめ・感想文記入	
1200	終了	

・第7回目のプロジェクター上映・配布資料

<p style="text-align: center;">シャローム大 学校 オープンキャンパス</p> <p style="text-align: center;">社会に役立つ コミュニケーション</p>	<p style="text-align: center;">文部科学省 「障害者の多様な学習活動を総合的に支援するための実証研究」事業 一般財団法人福祉教育支援協会／シャローム大 学校 後援 和光市 コーディネーター：引地達也シャローム大 学校学長</p>
<p style="text-align: center;">1</p> <p style="text-align: center;">出会いを喜ぼう みんなで驚こう みんなで笑おう 「新しい」を感じよう</p>	<p style="text-align: center;">2</p> <p style="text-align: center;">出会いを喜ぼう</p>  <p style="text-align: center;">3</p> <p style="text-align: center;">4</p>

みんなで驚こう
オーバーアクション！



5

みんなで笑おう



6



「新しい」ことを
感じよう

7

講師

林真理子(はやし・まりこ)

ビジネスマナー講師
シャローム大学校研究員

8

シャローム大学校 オープンキャンパス

講義で名刺交換の練習をします。
開始までに名刺を3枚つくってください。
所属名や氏名は、架空の名前でもOKです。



9

ビジネスコミュニケーション
～ 素敵に交わって話し合う ～

2020年1月18日

シャローム大学校 オープンキャンパス

10

ボールパス

- ・グループで30秒間パスをします。
- ・できるだけ多くパスをしてください。
- ・1回パスできたら1点、落としたりしたら1点減点です。
- ・サブティーチャーはしっかり数えておいてください。



11

本日の進め方

ビジネスコミュニケーション
～ 素敵に交わって話し合う ～



12

★

社会での人間関係

家族や友人との関係との違いはなんですか？

・どんな関係の人と？

例：初対面、考えが違う人、上司や部下

・どんなやりとりをする？

例：質問、依頼、説明、交渉



感じのよい態度や言葉を使う



「この人の言うことを聞いてみよう、話してみよう」
→やりとりがスムーズになる！

13

*

相手がもらって嬉しいパス

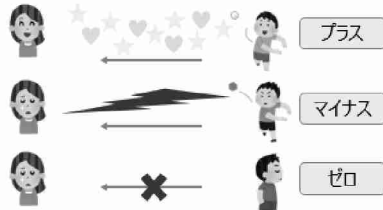
どんなボールにしようかな
どんな投げ方にしようかな



14

ストローク

ストロークとは・・・相手の存在を認めるはたらきかけ



15

承認欲求と自己肯定感

しょうにん よっきやう

承認欲求



「認めてほしい！」

じこ こうていかん

自己肯定感



「私はこれでOKだ！」



ものごとを肯定的・前向きにとらえる力に

16

相手がもらって嬉しいパス (ストローク)

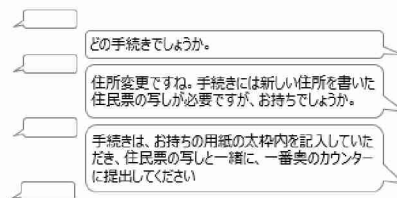


17

*

こんなやりとりどうですか？①

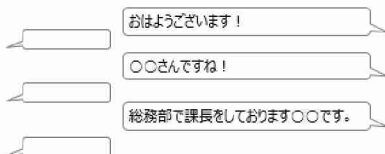
窓口にて：住所変更手続の方法を尋ねます。



18

こんなやりとりどうですか？②

就職初日に上司が受付に迎えに来てくれました。



19

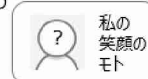
表情

・初めて会う人はどんな表情だと安心しますか？
どんな表情の人と過ごしたいですか？



・スマイルカードをつくってみよう

自分のイイ顔
笑顔のモト



20

*

スマイルカードの例

21

★

あいさつ

聞こえる声で
目をみて
心をこめて

あ かるく
い つも
さ きに
つ づけて

22

お辞儀 <姿勢と角度>

背筋をのびす

手を身体の横につける
or
手を前で重ねる

かかとをつける

45度 最敬礼
30度 敬礼・普通礼
15度 会釈

23

お辞儀 <リズムとコツ>

0 相手と目を合わせる

1 サツと腰を折る
首を曲げない。目線は相手の足元

2 一瞬「ためる」
心の中で「よろしく！」

3 ゆっくりもとに戻す
相手への敬意をかみしめながら

4 相手と目を合わせる
もう一回「よろしく！」の気持ちを込めて

聞こえる声で
目を合わせる
心を込めて

24

名刺交換の基本

①準備する
目下の人または訪問者から先に名刺を出す。

②渡す
名刺を片手で持ち、もう片手を添えて相手に差し出す。
「〇〇（所属）の〇〇と申します」

③受け取る
お互い右手で差し出し、左手で受け取り、右手を添える。
「頂戴します。よろしくお願いたします」

④受け取った後
大切に扱う

25

ボールパス <プラスのストローク>

今日一緒に過ごしたみんなに
プラスのストロークをプレゼントしよう！

26

8-3 開催レポート

2020年1月18日(土)、和光市においてシャローム大学校「オープンキャンパス2019」第7回目が開催されました。

【開催概要】

日時：2020年1月18日(土) 午前10時30分～12時

テーマ：ビジネスとコミュニケーション—素敵に交わり話し合う

仕事の現場やビジネス社会での人との対話のやり方をわかりやすく、体感しながら楽しく学んでいきます。

担当講師：林真理子・シャローム大学校研究員、ビジネスマナー講師

場所：就労移行支援事業所シャローム和光（和光市丸山台1-10-6 志幸21ビル7階）

主催：一般財団法人福祉教育支援協会／シャローム大学校

【開催レポート】

10:30～10:40<オリエンテーション>

「実践教育ステージ」として位置づけられた、第7回目のオープンキャンパス。初めての参加の方もおり、まずはシャローム大学校 学長の引地達也からオープンキャンパスの趣旨などが紹介されました。今回の担当講師はビジネスマナーが専門の林真理子講師です。



10:40～10:50<参加者自己紹介>

オープンキャンパスを楽しむためには、まずは参加者同士が親睦を深めることが大切。「最近ハマっていること」「私の好きなこと」「お正月にしたこと」等のテーマにて自己紹介が行われました。



10：50～11：00<ワークショップ：クッションパス回し>

続いて、グループごとに小さなクッションをパス回しするというゲームが行われました。「何回パスできたか」を競いましたが、実は、このゲームには「相手が受け取りやすく」というコミュニケーションのポイントがつまっているのです。



11：00～11：10<講義：社会での人間関係と望ましいコミュニケーション>

林先生の講義では、まず①社会における人間関係のポイントや②相手が望むコミュニケーションについて解説がありました。②では、林先生と引地学長のコミュニケーションのロールプレイもありました。



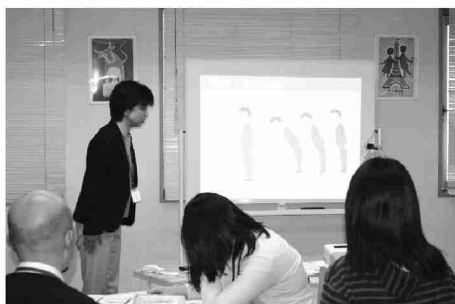
11：10～11：30<ワークショップ：スマイルカードをつくろう>

人とのコミュニケーションで大事なことは「笑顔」。「これを思い出すと思わず笑顔になれるもの」をカードに書き、その内容を紹介しあいました。



11：30～11：40<ワークショップ：お辞儀>

ビジネスコミュニケーションにおいて欠かせないお辞儀のポイントの解説があった後、実際に参加者がお辞儀の実践をしました。



11：40～11：50<ワークショップ：名刺交換>

続いて、こちらもビジネスコミュニケーションにおいて欠かせない名刺交換のポイントの解説があった後、名刺交換を実践しました。



11：50～12：00<ワークショップ：感謝の言葉でクッションパス&終わりの挨拶>

もう一度クッションパス回し（感謝の言葉を添えながらバージョン）が行われました。コミュニケーションのポイントをつかんだ参加者は、こちらのテクニックも向上していました。最後に終わりの挨拶があり、これをもって、シャローム大学校オープンキャンパス2019の全日程が終了しました。

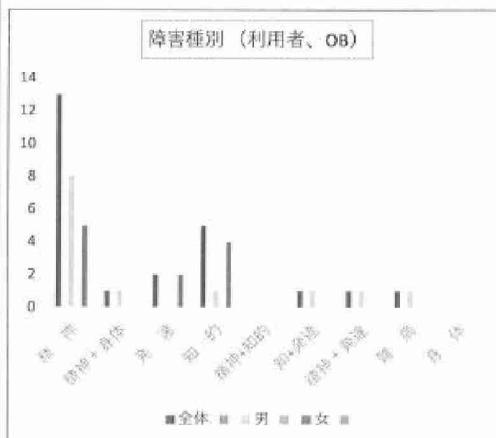


8-4 参加者集計

第7回 2020年 1月 18日					
	全体	男	女	欠席	前欠
予 定	24	10	14	-	-
当 日	22	10	12	1	-
シャローム利用者	9	4	5	1	-
シャロームOB シャローム大学校学生	3	2	1	0	-
一般	0	0	0	0	-
付 添	1	0	1	0	-
一般・視察等	1	1	0	0	-
技術指導ボランティア	0	0	0	0	-
スタッフ	8	3	5	0	-

* 障害種別 (利用者、OB)

障害種別	全体	男	女
精 神	9	5	4
精神+身体	0	0	0
発 達	0	0	0
知 的	2	0	2
精神+知的	0	0	0
知+発達	1	1	0
精神+発達	0	0	0
精神+難病	0	0	0
身 体	0	0	0
計	12	6	6



* 年齢別（スタッフ以外）

年齢別	全体	男	女
15-19	3	2	1
20-24	2	2	0
25-29	1	0	1
30-34	2	1	1
35-39	0	0	0
40-44	3	2	1
45-49	1	0	1
50-54	2	0	2
55-59	0	0	0
60代	0	0	0
70代	0	0	0
80代	0	0	0
不明	0	0	0
計	14	7	7

* 地域別（スタッフ以外）

	全体	男	女
和光市	3	1	2
朝霞市	2	0	2
富士見市	0	0	0
坂戸市	1	1	0
所沢市	0	0	0
狭山市	1	1	0
新座市	1	1	0
西東京	0	0	0
飯能市	0	0	0
板橋区	4	2	2
杉並区	0	0	0
千葉県松戸市	1	1	0
さいたま市	1	0	1
不明	0	0	0
計	14	7	7

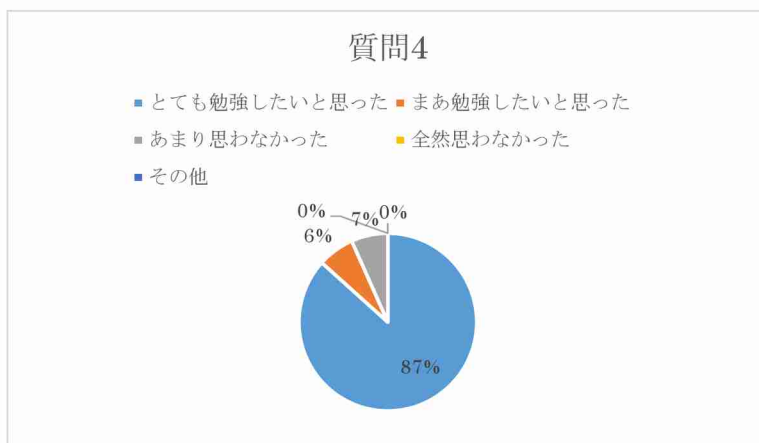
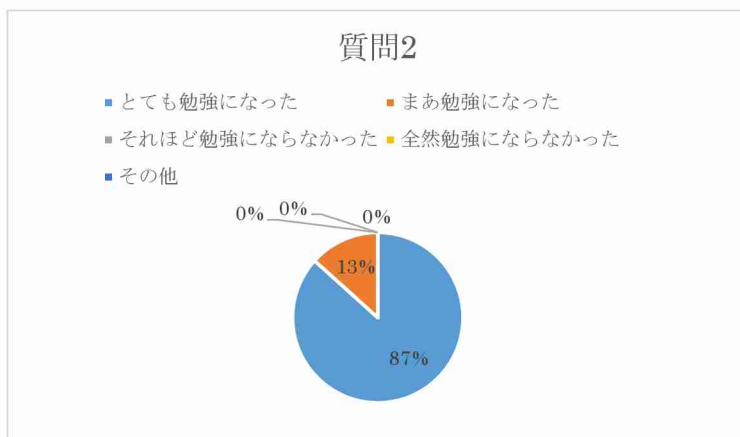
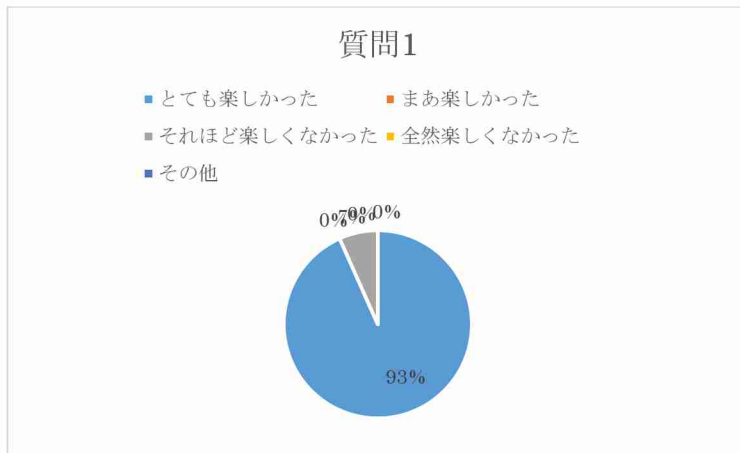
8-5 受講者の感想

	質問1	質問2	質問3	質問4	質問5	年齢	性別	
1	とても楽しかった	初めは男性が2人で緊張していましたが、女性2人加わって会話をしていると心が明るくなりました。名刺交換では初めて話す方もいらっしやっただけで色々な交流ができてうれしいです。	とても勉強になった 就職した後も姿勢も相手との話し方も必要になると思いました。	最後の感謝を込めてのパスでチームの方々とできたこと 楽しかったこと等話してボールを渡せたことです。	とても勉強した と思った	就職場所を見つけれないのはなぜか、自分に合った就職先はどのようなところか考える。	19	女性

2	とても楽しかった	キョウシの方がたがとてもユニークなためカタクならずベンキョウできました。	とても勉強になった	ビジネスマナーはしゅうしよくご、しゅうしよく前ともにひつような事なため。	メイシのうけわたし方についてははじめての事だったのでベンキョウになりました。	とても勉強したと思った		24	男性
3	とても楽しかった	ゲームを用いたりしながら分かりやすく、コミュニケーションのやり方も学べて、体験の方とも話す機会にめぐりあえたから	とても勉強になった	おじぎやあいさつ、名刺交換など基本的なビジネスマナーについて学べたため。	あいさつも最初にする際にも、笑顔で始めることが心に残っています。	とても勉強したと思った	グループでのビジネスコミュニケーションを想定した講義を受けてみたいです。	27	男性
4	とても楽しかった	初めましての方ともお話しできましたし、普段から接している人とも新しいコミュニケーションがとれてよかったです。	とても勉強になった	ビジネスマナーセミナーの復習にもなりましたし、名刺交換等新しいことも学べたので、勉強になりました。	「私が笑顔になれるもの」を紹介し合って、みなさんの笑顔の元を知ることができたことです。	とても勉強したと思った	周りの人と積極的に交流ができるプログラムには、とても興味があります。そのようなプログラムに参加したいです。	31	女性
5	とても楽しかった	楽しく、マナーを学ぶことができた。	とても勉強になった	マナーについて、色々学ぶことができたから	お辞儀の仕方	とても勉強したと思った		41	男性
6	とても楽しかった	初めましての方と会えたり、とても良い雰囲気の中でできました。	とても勉強になった	お辞儀のしかた、名刺交換のやり方などふだんはおそわることのないことばかりなので勉強になりました。	相手に伝わるパスを投げること。笑顔の大切さ。	とても勉強したと思った	私にとっては全く知らない事ばかりなのでビジネスマナーどんどん勉強していきたいです。そして、ビジネスマナー検定のが知りたいです。	43	女性
7	それほど楽しくなかった	いまいちだった	まあ勉強になった	少ししか印象に残らなかった	特になし	あまり思わなかった	あまり思わない	20	女性
8	とても楽しかった	笑いも交え、心を大切に、プログラムでした。	とても勉強になった	勉強したことを武器ではなく、友として、成長につなげられればと思います。	表情についてのアドバイスが印象的でした。逆、表情が、心というのも、とても参考になりました。	とても勉強したと思った		44	男性
9	とても楽しかった		とても勉強になった		名刺交換がむずかしかったです。	とても勉強したと思った		50	女性

10	とても楽しかった	林先生の柔い表情と温かい人柄が、空気をほんわかとさせてくれました。 周りのグループの方々も、ニコやかで、良い雰囲気でした。	まあ勉強になった	名刺交換は勉強になりました。	実践の礼と名刺交換	まあ勉強したいと思った	娘の調子が悪く、周りに不快な思いをさせたと思うので、申し訳ないです。 温かく受け入れていただけると有難うございました。	54	女性
11	とても楽しかった	挨拶の正しい方法や、名刺交換の正しいやり方を学べて、とても楽しかったです。	とても勉強になった	相手との初対面時や緊張した際に、口角を上げて笑顔を意識する。 とても勉強になりました。	自分が笑顔になれる切っ掛けを準備しておくことが大切だと強く思いました。	とても勉強したいと思った	相手と気持ちの良いコミュニケーションをとるための学習プログラムがあれば、参加していきたいと思いません。 また、自己表現の方法についても勉強したいです。	32	男性
12	とても楽しかった	基本的なコミュニケーションの大切さを改めて感じる事ができて、今日からのコミュニケーションに活かせると感じた為。	とても勉強になった	上記同様	良いコミュニケーションが良い空気をつくるということ。	とても勉強したいと思った	実験など、体験型のプログラム。	40	男性
13	とても楽しかった	ビジネスマナーを分かりやすく、かつ楽しく学べました。 グループの人と交流でき体感できたことも良かった。	とても勉強になった	すぐに実践できる内容でした。	ボールバスでは、他のチームに負けないように、こうすればよいとアイデアがでたこと。 また、他のチームのやり方をみていてまねしたらいいんだとみんなが考え、その通りに行動できたこと。	とても勉強したいと思った	ビジネスシーンでの先生の成功事例や失敗談などを聞いてみたいのです。	43	女性
14	とても楽しかった	基本は何度やっても良いと思います。	とても勉強になった		パス（ボールと表情・気持ち）	とても勉強したいと思った	ビジネス文書、など提出物、など	45	男性
15	とても楽しかった	少人数、小グループで、密なコミュニケーションを取りながら学べたため。	とても勉強になった	ビジネスマナーの基礎：あいさつ、お辞儀、名刺交換をしっかりと学べたため。	初対面の人と、関係性を作るきっかけとして目と声の表情が大切！	とても勉強したいと思った	身体と場の知性を上手に組み合わせたシヤローム大学ならではの学習プログラム。	49	女性

・集計表



7回目 参加者15人							
質問1		質問2		質問4		年齢・性別	
とても楽しかった	14	とても勉強になった	13	とても勉強したいと思った	13	年齢回答者数	15
まあ楽しかった	0	まあ勉強になった	2	まあ勉強したいと思った	1	平均年齢	37
それほど楽しなかった	1	それほど勉強にならなかった	0	あまり思わなかった	1	男性	7
全然楽しなかった	0	全然勉強にならなかった	0	全然思わなかった	0	女性	8
その他	0	その他	0	その他	0	未回答	0

8-6 まとめ

昨年に引き続き最後のプログラムとして行ったのはビジネスマナー講座であった。これは年度末を迎え、新学期が控えていることで、新しく社会人になる方や、就職活動を始める方を想定しての設定であったが、このようなビジネスマナーは年度末に限らず年中求められるプログラムであり、今回も一般市民の方も参加された。

基本的なビジネスマナーを会得することを、楽しさを加えて実感する柔らかいプログラム内容ではあるが、その柔らかい中に様々な発見もあるようで、繰り返して受講しても有効なプログラムかと思われる。

ビジネスマナーはスキル習得のイメージが強いため、柔らかい学びにするためのさらなる工夫が必要であろう。